



明治小学校版「学校と地域の連携推進モデル事業」

「進学指導・就職指導によって、たしかに村の子どもの学力は伸びるだろう。農村人口の都市への移行も必然的な動向であろう。しかし、村の子どもが、村には見切りをつけて、都市の空に希望を描いて学ぶ、というのでは、あまりにみじめすぎる、と思うのだ。そういう学習も成り立つではあろうが、それによって育てられる学力は、出発点からして『村を捨てる学力』になってしまうではないか」

東井義雄（とおいよしお）氏が、1957年に「村を育てる学力」で発表したものです。東京圏の一極集中が問題になっていますが、半世紀以上前にこの問題に気付いた学者がいたことに驚かされます。

明治小学校区でこのことを考えてみますと、明治コミュニティセンターでは主催講座や放課後子ども教室を実施しており、学校においても生活科や総合的な学習の時間などにおいて「地域のよさ」に気付く授業を実践するなど、子どもたちに**明治地区への愛着心を育てる活動が多数行われています**。また、地域と学校が協働する活動も展開されており、子どもたちに地域の誇りを持たせ、主体的に地域に残る、地域づくりの担い手を育てていると言えます。

それでは、明治小学校で「地域と学校が協働する活動（地域学校協働活動）」として実施している、「**秋の里山の活動**」を紹介します。本活動の特長は、地域と学校がそれぞれの思いを共有していることです。その概要をお伝えします。（活動の実際については、次号にてお伝えします。）

里山の魅力を、多くの人に感じ取ってもらいたい。多くの皆さんに、ボランティアを経験してもらいたい。（地域）

「地域とともにある学校」づくりを推進したい。（学校）



体験活動を通して、児童・保護者・地域の人々に、自然のよさを感じてもらいたい。人と人のつながりを広げたい。（共通の願い）

明治小学校の地域学校協働活動を支える強い味方!!「学校支援コーディネーター」

明治小学校の強みに、教職員と学校支援コーディネーターとの**信頼関係**（長年にわたり築き上げた絆）があります。このことは、学校と地域の目指す関係「**ちょっと無理の言い合える関係**」を具現化しており、社会教育からの視点として理想的な関係性であると言えます。

今回は、明治小学校「学校支援コーディネーター」の皆さまを紹介します。



左から森田 純子さん・谷 靖子さん・貝賀 葉好さん
「こんにちは。明治小学校 学校支援コーディネーターです。私たちは『明るく楽しく』をモットーに活動しています。学校と地域の皆様とを繋ぎ、より絆が深まるようお手伝いができればと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。」

コーディネーターの皆さま、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。

校内研修を実施しました。

学校と地域の連携・協働の推進に係る活動の充実を目的とした研修を実施しました。研修の内容等は次の通りです。

- テーマ 学校を核とした地域づくり
- 講師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会
代表理事 廣瀬 隆人氏
(元宇都宮大学教授)

○内 容

- ・地方創生は、「社会に開かれた教育課程」「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」3つの施策が連動している。
- ・子どもたちに**地域の誇り**を持たせ、主体的に地域に残る、地域づくりの担い手を育てる。
- ・地域学校協働活動を実施することにより、子どもの体験活動を促進していく。学校だけではなく、地域を巻き込むことが大切。
- ・**学校と地域がともに**責任感をもちながら、未来を担う子どもを育成する。



頑張る学校・地域！応援プロジェクトに関する問合せ

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL028-626-3183 E-mail:kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp